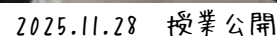


で、いーえっくす

\\ \\ \\



スーパーティーチャー

中学校で入りたい部活動について伝え合うことを目標に、まずは、Kahoot!を活用し、ゲーム感覚で楽しみながら英語表現を身につけていました。さらに、Wordのディクテーション機能を使って自分の声を端末の画面に文字化することで、児童が主体的に英語を声に出す機会を増やしています。伝わりやすい発音を目指して何度も繰り返し発話する姿も見られ学習意欲が高まっていました。授業全体を通して、子供たちがたくさん英語で会話することができる雰囲気作りが工夫されており、どの児童も笑顔で積極的に活動する素晴らしい授業です。





導入

1. Opening Song(The Wheels on the Bus)を歌詞を意味するジェスチャーをつけて歌う。

2. 本時のめあてを知る。

入りたい部活動を伝え合おう。



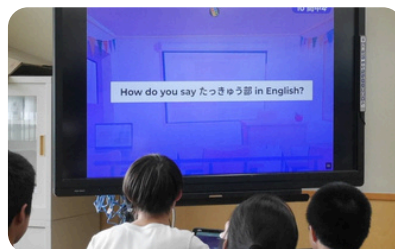
リズムよく歌っている児童

3. 指導者の英語表現を聞いてクイズに回答する。

- ・指導者が「Kahoot!」で作成した問題を電子黒板に表示し、文字と音声に関連させながら、語彙や会話表現の定着を図らせる。



回答のためのQRコードを読み取っている児童



回答している児童



正解し喜んでいる児童

4. 音声認識機能を使って自分の声を文字にする。

(1)指導者と児童のデモンストレーションを見る。

What club do you want to join?

I want to join the baseball team.

Nice. Good. I see. Really?

Me too. Sorry? Once more time.

デモンストレーション



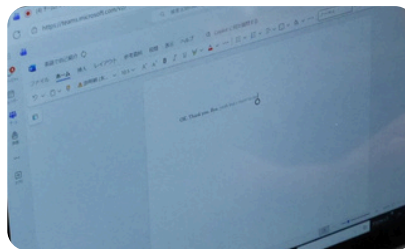
展開

(2)入りたい部活動について1人1台端末のマイクに向かって話し、自分の声を文字化する。【Word ディクテーション機能】

(3)画面に表記された英語が伝えたい表現と異なる場合は、キーボードを使って修正する。



声を音声認識させている児童



ディクテーションの画面



繰り返し発話する児童

5. Small talk を行う。

- ・友達とお互いの入りたい部活動について伝え合う。

B：入りたい部活動を伝え合っている。

【知識・技能／話すこと（やり取り）】（行動観察・発言）

- 英語表現が分からずに戸惑っている児童には、再度、端末で音声を聞かせたり、やり取りをするグループの中で助け合わせたりして発話につなげる。



入りたい部活動について伝え合っているところ

終末

6. 振り返りを課題シート（Word）に記入しTeamsで提出する。

「SAGA Eコネクト」ではたくさんの事例を紹介しています。

<https://www.saga-high-school.jp/e-connect/>

先生たちの広場

ID：〇〇〇〇

PW：〇〇〇〇

